

スルホンアミド系単剤

資料3

検討対象となる理由					ハザードの特定における検討項目				
通し番号	1	2	3	4	菌属・種	【発生】 家畜に当該抗菌性物質を使用した場合に薬剤耐性菌/薬剤耐性決定因子を選択する可能性がある	【暴露】 (家畜で選択された薬剤耐性菌/薬剤耐性決定因子が)食品を介して人に伝播する可能性がある	【影響】 (家畜で選択された薬剤耐性菌が食品を介してヒトに伝播し)当該薬剤耐性菌/薬剤耐性決定因子がヒトに対して健康上の危害因子となる可能性がある	評価書のハザードの特定に係る検討で記述・考慮するか
	家畜の病原菌（有効菌種）	食品由来病原菌	医療において治療対象としての病原菌	指標細菌		使用方法 薬物動態 抗菌スペクトル 薬剤耐性決定因子	対象食品 食品における分離に関する知見 ヒトでの定着又は感染性	関連するヒト用抗菌性物質がある 当該薬剤耐性菌による感染症の治療に使用される（推奨薬である） 一から五類感染症 主要な腸管感染症	
1	○	○			ブドウ球菌	○ ♀	○ ?	×	×
2	○				レンサ球菌	○ ?	△	×	×
3	○				コリネバクテリウム	○ ?	×	×	×
4	○				パストツレラ	○ ?	×	(×)	×
5	○				ボルデテラ	○ ♀	×	(×)	×
6	○				アピバクテリウム	○	×	(×)	×
7	○			○	大腸菌	○	○	×	×
8		○			病原大腸菌	○	○	×	×
9	○ ?	○			サルモネラ	○	○	×	×
10		○			カンピロバクター	○	○	×	×
11		○			ウェルシュ菌	○ ?	○	×	×
12		○			エルシニア	○	△ ?	×	×
13		○			リステリア	○ ?	△ ?	×	×
14			○		鼻疽、類鼻疽	×	(×)	(○)	×
15				○	腸球菌	×	(○ ?)	(×)	×